

大規模災害に強い高速道路ネットワーク等の整備促進

道路は、国民生活の向上、経済社会の発展に不可欠な最も基本的な社会基盤であり、特に国土の骨格を形成する高速道路は、「中国地方の自立ある発展」の実現はもとより、大規模災害時や救急医療、有事の際の国民保護活動等において国民生活を支える不可欠な社会資本である。

高速道路ネットワークについては、昨年の中日本大震災や紀伊半島大水害を通じて、『命の道』としての重要性が改めて認識されたところであるが、中国地方には依然として山陰道をはじめとする高速道路ネットワークにミッシングリンクが存在しており、大規模災害時における住民の安全・安心な生活を脅かしている。

大規模災害時において、周辺地域を含めた社会経済活動を維持するためには、被災していない高速道路が迂回路として機能し得るよう、山陽側、山陰側双方のダブルネットワークが必要であるが、中国地方におけるミッシングリンクによる物流の寸断は、中国地方のみに留まらず、日本全体の社会経済活動に深刻な影響を及ぼすおそれがある。

今後も大規模災害が想定される我が国においては、災害に強い国土基盤を構築するため、国家戦略として、国の責任において、高速道路ネットワークの整備を早期にかつ優先的に行うべきである。

また、昨年12月に出された「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ」においても、災害に強い高速道路ネットワークの在り方や安定的でわかりやすい料金制度の在り方が示されたところであり、その早急な具体化が必要となっている。

さらに、高速道路ネットワークと一体となって地域や物流拠点間の連携を強化する地域高規格道路をはじめ、地方が真に必要とする道路整備を主体的かつ計画的に実現できるよう、道路整備に係る予算の充実及び安定的な確保を図るべきであり、次の事項について強く要請する。

1 高速道路ネットワーク全線の早期整備

東日本大震災や紀伊半島大水害の教訓を生かし、今後の大規模災害に対応できる国土基盤を構築するため、国家戦略として、国の責任において、高速道路ネットワーク全線を早期にかつ優先的に整備すること。

特に、山陰道については、全体延長に対する供用済区間の割合が4割にも届かず、極めて整備が遅れており、山陽側の高速道路と一体となったダブルネットワークを構築するためにも、未着手区間の早期の事業着手とともに、事業中区間の一層の整備促進を図り、早期に全線開通を実現すること。

また、ダブルネットワークを相互連結する中国横断自動車道姫路鳥取線、尾道松江線などの事業中の箇所については、事業効果を早期に発現させるため、一層の整備促進を図ること。

さらに、高速道路の定時性、安全性の確保や物流機能の強化、被災復旧時における交通機能の確保を図るため、中国横断自動車道岡山米子線など暫定2車線供用区間の4車線化を促進すること。

2 高速道路の料金制度

高速道路の料金制度については、対距離制を基本とし、全国共通の水準とすべきであり、特に、本四高速道路の料金については、平成26年度から全国プール制に組み入れ、償還期間の延長など、償還スキームの抜本的な見直しを図ること。

3 地域高規格道路等の整備促進

大規模災害時における緊急輸送道路や迂回路として、高速道路ネットワークと一体となって地域や空港・港湾等の物流拠点間の連携を強化する地域高規格道路、国道、さらには地域の生活を支える地方道の整備を促進すること。

4 安全・安心で災害に強い道路の整備促進

道路が、緊急輸送道路や迂回路として、大規模災害時にその本来の機能を十分に発揮するため、橋梁やトンネルの耐震化や長寿命化対策などを一層促進すること。

5 真に必要な道路整備のための予算確保

国、地方がそれぞれの役割に応じて災害に強い国土づくりのための道路整備を計画的に進められるよう、必要な道路整備予算の総額を十分確保すること。

平成24年6月1日

中国地方知事会

鳥取県知事	平	井	伸	治
島根県知事	溝	口	善	兵衛
岡山県知事	石	井	正	弘
広島県知事	湯	崎	英	彦
山口県知事	二	井	関	成